

「この製品、どう使う？」 その問い合わせ、 AIが資料から答えます。

開発中

現在開発中のシステムです。導入時期・仕様はご相談ください。

資料にもとづくAI回答の精度

93% を実現

「使用方法は?」「保管条件は?」「併用に制約はある?」
——資料を探して折り返していた問い合わせを、AIが一次受け。
院内資料・物品説明書にもとづき、根拠つきで回答。

院内資料をそのまま活用

既存マニュアル・
物品説明書を読み込み、
院内ルールも反映

93%の精度で即回答

独自のハルシネーション
対策で、根拠のある
回答をその場で

怪しい回答は人へ

残りの7%は自動で
検出し、スタッフが
判断。誤答を防ぐ

導入効果 | 現場も担当も、こう変わる

折り返し電話がなくなる

電話し直す往復が不要になり、
現場はその場で答えを得られる

情報がすべて蓄積される

電話では消えていた質問が、
データとして残る

経験知が資産になる

属人化していた知識を、
分析して見える化・効率化

まずは30分の
オンライン説明会から。
開発中の画面を見ながらご説明します。

お問い合わせ先

☎ 087-887-8881

✉ medical-all@dynaxt.co.jp

🌐 <https://dynaxt.co.jp>

どんなしくみ？

各部署からの物品・薬剤の詳細な問い合わせを、AIが一次受けします。
AIが院内資料・物品説明書を読み込み、根拠にもとづいて回答(精度93%)。
確信が持てない残り7%は自動で検出し、スタッフへエスカレーションします。

問い合わせ対応の流れ

各部署・病棟(PCから物品・薬剤を照会)

①

AIが院内資料から回答

仕様・使用方法・制約・保管条件などを、根拠資料とともに提示。

93%

ここで解決

✓解決

↓ 怪しい回答・解決しない時は、スタッフへエスカレーション

②

スタッフへエスカレーション

受け手の画面に、どの部署の誰が・どの物品について何を知りたいかがそのまま表示。

具体例 | ある日の病棟

10:30

Q.「この吸引力テール、サイズ違いで何が変わる？」
→ AIが物品説明書から仕様の差を回答。電話せず解決。

①自己解決

13:45

Q.「この薬剤、開封後の保管条件は？」
→ 院内ルールを反映した保管条件を、根拠資料つきで回答。

①自己解決

16:05

Q. 新規採用品で、参照できる資料が不十分。
→ AIが確信の低さを検出しスタッフへ。誤答を出さない。

②引き継ぎ

安心して使えます

- ✓ 回答には根拠となる院内資料が示され、その場で確認できます
- ✓ 電話では消えていた質問と回答が蓄積され、院内のナレッジになります